

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1192800025		
法人名	杜の家 あい		
事業所名	グループホーム 杜の家 あい		
所在地	埼玉県入間市森坂4-12		
自己評価作成日	平成22年6月28日	評価結果市町村受理日	平成22年10月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kohyo-saitama.net/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	平成22年7月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

併設の施設とレクリエーション、行事等の交流を通じて生活圏の広がり、生活の質を高めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームと小規模多機能型居宅介護事業所が併設されている強みを生かした相互交流が積極的に行われている。日々のレクリエーションや行事等は相互に連携しあい、一緒に楽しむことで、利用者の満足感と充実感が高められている。 ・職員が工夫をすることで、ADL維持が図られている。具体的には、なるべく薬を使わず、運動の機会を増やしたり、センサーで利用者の動きを察知した時は、すぐ飛んでいくことで転倒リスクを回避したり、日常の活動を充実させることで、効果が現われている。 ・職員個人個人の目標を定め、達成計画を作成することで、スキルアップを目指し、利用者に満足していただけるようケアに繋げている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスのグループホームである意義を踏まえた理念を作成し管理者職員は共有し実践につなげている	「あい」と言う名前の由来である「出会い・ふれあい・助け合い」で始まる4つの理念を掲げ、住み慣れた地域で暮らしたいという利用者の気持ちを受け止めて、日々振り返りながら実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	1ヶ月の行事予定を地域内に設置した掲示板に張り出し、地域の人に参加を呼びかけている。近隣への散歩や買い物へ出向き、交流をもっている。	地域で開催された夏祭りに参加したり、日々散歩の途中で近所の人に挨拶をしたりする中で、地域に事業所が周知されてきている。さらに運営推進会議の中でも地域の人たちとの関わりをどうしたら深めていけるか検討をされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事参加などで交流を持ち、認知症の人があたり前の存在のように理解していただき、行きやすい施設として認識してもらえるように心掛けている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々、ご家族に参加していただき、状況報告と共に地域に根ざした暮らしへのアドバイスをいただいています。	運営推進会議で、事業所内の庭を活用してイベントを行ってはどうか、とご家族からの提案があり、フルートの演奏や花火大会、模擬店等を行ったところ、利用者やご家族に大好評だった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	機会があるたび「市役所に出向いた時」「地域包括の月に1回行われる地域ケア会議」報告している。	市主催の地域ケア会議に出席し情報交換をしたり、利用者や事業所の様子を伝えるなど、市担当者とは良い関係が築けるよう努められている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者、すべての職員が具体的に禁止されている身体拘束を理解しており、身体拘束のないケアに取り組んでいる。	日頃から研修やミーティングを通して、職員には周知されている。できるだけ薬を使わず、日中の活動を充実させることで、身体拘束を行わないケアが実践されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は虐待について学び職員に具体的に虐待についての説明を日頃より伝え、虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は権利擁護について学び職員に成年後見の説明を話している、またパンフレットを備え付けているが事例がない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際はその都度説明を行い、理解、納得されるように心がけている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置、苦情及び、相談に対するも窓口を設置して運営に配慮できるようにしている。また気軽に相談しやすい環境を整えている。	日常の中で、できるだけゆっくりできる時間を作り、利用者からの話を聴いている。家族からは靴の置き場所や、駐車場が狭いので広くして欲しいと要望があり、改善されるなど、運営に活かされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的ミーティングを行い、意見要望については会議録及び、全体会議にて代表者に報告している。	ミーティング時や個人面談を通じて、職員の意見を聴取している。日常での気づきや提案がすぐに実現されるなど、自由に意見が言える環境が整っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職種、立場、資格、地域の水準、労働時間、仕事内容を考慮して決めて、各自は仕事のやりがいに結びつけられるようにし、研修も必要に応じて受けてもらい、スキルアップにつなげている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人ひとりの評価や目標を立て目標達成を支援して、資格取得支援、必要に応じて研修も受けられる機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣にある施設と見学や意見交換する機会を持っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員間で情報の共有を密に行い、ご家族との連携も含めて安心して暮らしていけるように支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会、電話連絡を通して利用者の生活状況、ご家族の要望等を聞くようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、ご家族との話し合いにおいてその時の状況でベストな選択ができるように支援しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の関わりを通じて個を尊重しながら共に生活を作り上げていく意識で支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者、ご家族と共に面会、電話連絡を通じてコミュニケーションを取り、支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅にいるときと同様にご家族、ご友人が自由に交流出来るように支援しています。	知人や親戚が大勢訪ねてきて、利用者の居室で談話されている。特に家族の面会は頻繁で、これまでの関係が途切れないように支援されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの特性を把握した上で共同生活の中でその人らしさを活かせるように相互の関係に配慮して支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も生活環境、介護の継続性に配慮して利用者及び、家族に対して必要な援助を行います。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望を把握したうえでその人らしい生活が送れるように支援しています。	利用者一人一人とゆっくり話を聴く機会を持つよう心がけている。意思疎通が困難な利用者には表情やいつもと違う様子などから把握したり、家族から生活歴等を聴き取り、職員で情報を共有するなど努められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者、ご家族との関わり合いを通じて生活歴を知るとともに日々の生活につなげていけるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	勤務時間毎の申し送り、連絡帳、個人記録の活用により利用者の日々の状態把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、ご家族との関わり合い、職員のミーティングを通じて現状のニーズにあうように介護計画を作成しています。	利用者の変化にすぐ対応できるように職員全員が共有できる仕組みが作られている中で連絡帳や日々の申し送りや利用者の状況を把握してミーティングを行い介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活記録、個人バイタル表、連絡帳を通じて日々の申し送り、ミーティングにて実践、介護計画を立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の心身の状況、希望及びおかれている環境をふまえて支援をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の情報の把握に努めて、利用者の生活に結びつけられるように支援しています。同じ建物にある小規模多機能との交流の機会も設け生活の場を広げている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診の際、バイタル表、日常生活の報告書の提出。緊急時における受診の援助。	利用者の状態がいつでも把握できるように、事業所で「利用者状況提供書」を作成している。薬の変更や緊急時にはかかりつけ医にすぐ連絡し、適切な指示が得られるように努められている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医務相談及び緊急時24時間対応による看護師との連携し又、夜勤も組み入れ利用者の夜間帯の様子も把握している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急時及び入院時の利用者状況提供書を作成している。また協力医療機関との連携を心掛けるつもりだが事例はない。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者、ご家族、主治医、施設責任者で本人、ご家族の意思確認。医師の診断、指導、施設の支援方針の協議を行い、対応方針を決定します。	入居時に、終末期に向けた事業所の方針を説明し、家族からは同意を得ている。まだ開設したばかりであり、看取りに対しては、職員の研修も含め、今後の課題となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署による初期対応指導（一部職員未実施）マニュアルも作成している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署による防火、避難訓練の実施。今年度、地域の防火訓練に参加予定。	消防署と連携し、避難訓練を実施している。AED研修や防災用自動通報装置も取り付け、災害には細心の注意が払われている。夜間を想定した訓練を近々予定されている。	災害の発生に備えて、地域の人々や近隣事業所とも連携し、防災訓練ができるような支援体制の確立に期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者、一人ひとりの特性を把握した上で、支援しています。	職員会議やミーティング時に利用者一人一人にあった声かけや言葉使いを検討し、職員間で徹底されている。利用者の羞恥心や人格に配慮した対応を心がけた支援が行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の生活パターンを基本として予定等がある際にはその都度、説明して希望を聞いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者、一人ひとりの特性を把握した上で、安心してその人らしく生活できるような雰囲気作りに努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人がご家族、職員と共に好みに合わせた服装、おしゃれができるように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、片付け等、個々の能力に合わせて行い、共に作り、楽しむ食事を支援しています。	今年から利用者と職員で一緒に作った新鮮な野菜が食卓に提供されている。野菜を刻んだり、皮むきをしたり、利用者は積極的に食事作りを楽しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	配達食材のメニューによる栄養バランスの取れた食事、利用者の食事形態に合わせた提供を行っています。定時水分補給(食前食後、10時、15時、入浴後)の確保をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけ、介助、確認を行っている。訪問歯科による口腔ケア指導も行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介護記録表による個々の排泄状況の把握、支援により不快なく自然に排泄が行えるように支援しています。	排泄チェック表を活用し、利用者一人一人の排泄パターンを把握して、さりげなく誘導することでできるだけトイレで排泄していただけるよう取り組まれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の体操、散歩等の運動機会の確保、週三回の牛乳の飲用。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	月曜から土曜の間、入浴を実施、時間帯は日中を中心として行っています。	入浴時間帯は、利用者と職員が1:1になれる時でもあり、一人30分ほど時間をかけて、ゆっくり話をしながら、入浴を楽しんでいただけるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の生活リズムに合わせて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬確認表、薬連絡表の活用により、職員間で情報の共有をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーション、行事の他に利用者の趣味、嗜好、生活歴に合わせて個人のペースで生活を送れるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、農作業、買い物外出の機会を日々の生活の中でできるように支援しています。	ADLを低下させないために、できるだけ外出の機会を確保するよう努めている。毎週日曜日は「買物の日」と決めており、利用者職員で近くのショッピングモールへ出かけている。また、利用者からの希望で今年度から農作業を楽しめるよう取り組みが行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持を希望される利用者は、本人、ご家族同意の上で所持されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙、電話等の要望がある場合には職員の支援により自由に行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	余暇、レクリエーションで作成した作品、散歩、外出で頂いたり購入した花々を置いたり、畑でとれたの作物を皆で食べたり、生活感、季節感のある生活を送れるようにしています。	リビングの中央には、大きなソファが並べてあり、利用者がゆったりとくつろげる空間となっている。利用者が作成した趣味の折り紙が飾られていて、居心地の良い環境が作られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内にそれぞれに異なるテーブル、ソファ等を置くことにより個々の時間が持てるように配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室家具は自宅からの持ち込みが主で、各居室には利用者の特色が見られます。	利用者は、自分の好みの物を持ち込まれ、安心して過ごせる居室となっている。利用者同士で花などを交換して、清潔で落ち着いた雰囲気が作られている。また、一人一人の居室が広く、家族と共に長時間過ごされている利用者も多い。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事故防止に努めながらも、その人らしい生活が送れるように支援しています。		

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 杜の家 あい

目標達成計画

作成日: 平成 22年 9月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	訓練は消防署の指導のもとで行ったが、身についていない。	訓練後、暫くすると手順を忘れてしまう職員もいるので、防災訓練は間隔をあけないで計画したい。	月1回防災訓練の日を決めて、簡単なことから始めていく。(消火器の使い方、スプリンクラーの止め方、避難の仕方、避難場所の確認など)	1ヶ月
2	33	今後、利用者の重度化に伴う介護、医療の知識、技術の習得	重度化に向けた介護、医療の知識、技術の習得、体制作り。	看護師の下での医学知識の勉強会、職員間での介護技術の勉強会、業務の見直し。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。